

学科 学年	M3	科目 分類	数学A I Mathematics A I	講義 必修	20前期 2 単位	学習教育 目標 B	担当	佐藤志保 SATO Shiho
概 要	2 年次に学習した 1 変数の微分積分に続き、関数の級数展開および 2 変数の微分積分について扱う。							
科目目標 (到達目標)	関数の級数展開の意味を理解する。2 変数関数で極値問題が解けるようになる。							
教科書 器材等	微分と積分Ⅱ、同問題集(大日本図書)、高専の数学 3 問題集(森北出版)							
評価の基準と 方法	単元ごとの小試験と定期試験の成績を合わせて評価する。小試験は基本問題、定期試験は応用問題を主に出题する。							
関連科目	1 年、2 年次における数学A, B							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1回	×	多項式による近似 (1)						
第 2回		多項式による近似 (2)						
第 3回		数列の極限						
第 4回		級数						
第 5回		べき級数とマクローリン展開						
第 6回		オイラーの公式						
第 7回		演習						
第 8回		演習						
第 9回		2 変数関数						
第10回		偏導関数						
第11回		接平面						
第12回		合成関数の微分法						
第13回		演習						
第14回		演習						
第15回		前期中間試験						
第16回		高次偏導関数						
第17回		多項式による近似						
第18回		極大・極小						
第19回		演習						
第20回		陰関数の微分法						
第21回		条件付極値問題						
第22回		演習						
第23回		演習						
第24回		包絡線						
第25回		演習						
第26回		演習						
第27回		2 重積分の定義						
第28回		2 重積分の計算						
第29回		演習						
第30回		× 前期期末試験						
オフィス アワー	授業、会議のない日の 17 時まで。							
授業アンケート への対応	丁寧な板書を心がける。							
備 考								
更新履歴	2008. 3. 19 新規							